



# ガウハチ大学地理学科

(インド)

(Gauhati University)

交流協定締結年月日：2015年8月3日 主管学部：教育学部



ガウハチ大学地理学部の入口



ガウハチ大学地理学部のメンバーと



アッサムの茶園

## 国際交流の特色(大学紹介)

ガウハチ大学はインド北東部における初めての公立大学として1948年に設立されました。インドのお茶所としても有名な、ブラマプトラ川のほとりのアッサム州の州都グワハチ(旧名ガウハチ)の西部の郊外にキャンパスを持つアッサム州立大学です。Arts, Sciences, Technology, Commerce, Management および Lawの学群に大きく分かれ、地理学部はArtsの学群に属しています。2015年8月、本学としては、インドの大学として初めて国際交流協定を締結しました。

インド北東部には、多様な自然環境を背景に、それぞれ異なる宗教と文化、独特な言語を持つ数多くの部族が居住しています。多様な民族性、多元的文化の共生、環境と文化の関係などをまなぶ上で豊かなフィールドです。地理学科として、多様な地球環境問題との関係をおつかっており、気候変動にかかわる研究をトピックとして特筆しているのも特色です。

## 交流実績(平成27年度)

- 平成27年2月 「アジア太平洋地域の水危機を考えるシンポジウム」(香川大学主催)に代表受入
- 平成27年3月 「インド地理学連合」(ガウハチ大学が主管となって開催)に香川大学から代表派遣
- 平成27年8月 学術交流協定の締結
- 平成28年3月 教員・研究者派遣 2名



2015年8月、インドの大学との初の協定締結。地理学科長Kar教授、ツーリズムを研究するBhattacharya博士らと。

### 教員からの声

アッサム地方の自然環境の多様性も活かしたツーリズムや、地域産業の振興など、地域の課題と向き合った実践的な地理学がとても魅力的な学科です。

地理学科のヘッドもつとめたA. K. Bhagabati教授は、アッサム州各地のcollege(高校にあたる)の先生方に教え子を輩出されており、その明るい人柄とともに親しまれており、研究教育の両面にわたってcollegeとの協力にも可能性が広がります。

交流協定は結んだばかりですが、研究上の交流はすでに10年近くになろうとしています。



サイやゾウなどの動物もいっぱいいるカジランガ国立公園の絶景

アッサム各地の多様性を巡るツアーなど、魅力的な取り組みを計画していきます。どうぞお楽しみに。(教育学部教授 寺尾)